

日本点字事情 かわら版

横浜市立盲学校
点字研究部

1998年9月21日発行 NO.5

文責 道村静江

前号でa案とb案を紹介しましたが、まだイメージをつかめないことでしょう。もう少し、具体的に例示してみたいと思います。前号の「9」に続きます。

(3) 現行の記号と二つの案を具体的に対比してみましょう。

< 簡単な演算記号 >

	プラス +	マイナス -	かける ×	割る ÷	イコール =	小数点 .	分数線 /
現行	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠
a案	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠
b案	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠	⠠⠠

	分数カッコ 点訳上	数式小カッコ ()	数式中カッコ { }	数式大カッコ []	根号
現行	⠠⠠ ~ ⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠
現行 a案 (2通り)	⠠⠠ ~ ⠠⠠ ~ ⠠⠠ ⠠⠠ ~ ⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠ ⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠ ⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠ ⠠⠠ ~ ⠠⠠
b案	⠠⠠ ~ ⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠	⠠⠠ ~ ⠠⠠

< 実際例 > 上の記号を使って、解読してみましょう。

$$\frac{a+b}{2}$$

現行 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

a案 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ or ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

b案 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

(5) 結局 , 何なんだろう??

残念なことに , この両案を解読しようと思っても , 高度な数学記号などの部分では私の理解の範囲を超えてチンプンカンプンなので , これ以上のコメントのしようがありません。しかも , この案が情報処理の専門書にどう役立つのかさえも皆目見当が付きません。ですから , この両案のどこがよくて , 何が悪いのかの意見をはっきり言えないのがとても残念です。

あえて言えるとしたら , 前号の 9 . (1) と (2) の < 個人的感想 > , 上記の (4) ぐらいなのです。ごめんなさい。

「かわら版」の 4 号と 5 号をお読みくださった方の中には , 何のことが書かれているのか理解に苦しまれた人も多かったと思います。点字数学記号を熟知していないとわからないことだらけですよ。数学科以外の方は苦しむはず。仕方ありません。

でも , 点字委員会がなぜこのような案を作ろうとしているのか , 大まかに何が換えられようとしているのか , お分かりいただけたでしょうか? 分かりづらくとも我慢して何度も読んでください。やがてこの火の粉は盲学校で学び , 働く人全員に降りかかってくるのですから。